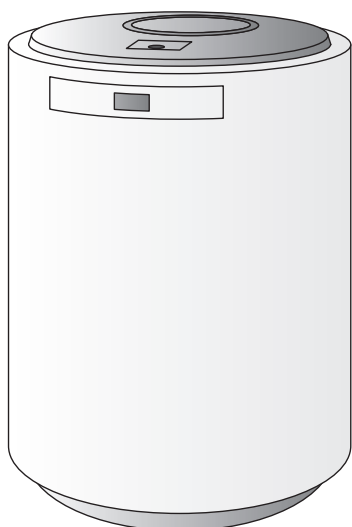


他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

スチームファン式加湿器

KSF-M1004



もくじ

●安全上のご注意	①～②
●知っておいていただきたいこと	③
●設置	④
●各部の名称	⑤～⑥
●準備	⑦
●使いかた	⑧～⑩
●お手入れ	⑪～⑬
●収納のしかた	⑭
●故障かな?と思ったら	⑮
●よくあるご質問	⑯
●仕様	⑰
●アフターサービスについて	⑱
●保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- ・このたびは、弊社スチームファン式加湿器をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用の前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ

YAMAZEN BOOK を
チェック!



随時情報を更新中!

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。



警告

誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



注意

誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明



禁止

禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



指示

指示する行為の強制（必ずすること）を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



注意

注意を示します。
具体的な内容は図記号の中や文章で示します。



警告



分解禁止

分解・修理・改造をしない

火災・感電の原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご相談ください。



水滴れ禁止

本体を水につけたり、水をかけたりしない

吹出口や通気口に水が入らないようにしてください。
感電・ショート・故障の原因になります。

電源プラグ・コードは正しく扱う



交流100V
15A以上

交流100V・定格15A以上のコンセントを
単独で使用する

他の機器と併用したり、延長コードを使用したりすると、
発熱による火災の原因になります。



ホコリを
とる

電源プラグの刃および刃の取付面にホコリ
が付いているときは、乾いた布でふき取る

プラグにホコリがたまると湿気などで絶縁不良となり、
火災の原因になります。



根元まで
差し込む

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと感電・ショート・発火の原因に
なります。



本体の移動時は電源プラグをコンセント
から抜き、必ず水を捨てる

こぼれた水による床濡れや、けがの原因になります。



プラグを
抜く

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセ
ントから抜く

感電・けがの原因になることがあります。



プラグを
抜く

異常時（水もれ・焦げくさいにおいがする
など）は、運転を停止して電源プラグをコ
ンセントから抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。
運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。



プラグを
持って抜く

電源プラグを抜くときはコードを持たずに、
必ずプラグを持って引き抜く

断線・ショートして感電・故障・発火の原因になります。



プラグを
抜く

使用時以外は、電源プラグをコンセント
から抜く

電源プラグを長期間差し込んだままにしますと、ホコリなどが
積もることによって絶縁劣化を起こし、感電・漏電火災の原因
になります。



濡れ手禁止

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードや電源プラグが傷んでいるとき
や、コンセントの差し込みがゆるいときは
使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、
引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い
ものをのせたり、挟み込んだり、加工したり、
高温部に近づけたりして使用しない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。



禁止

マグネットプラグにピンや針金など金属物
や異物を付着させない

感電・ショート・発煙・発火の原因になります。



禁止

マグネットプラグをなめさせない

乳幼児が誤ってなめないようにしてください。
感電・けがの原因になります。

警告



包装用ポリ袋は、お子様や乳幼児の手の届かない場所に保管する

誤って被ったとき窒息し、死亡の原因になります。



禁止

すき間などからピンや針金など、金属物や異物を入れない

感電・異常動作してけがの原因になります。



禁止

お子様だけで使用させたり、乳幼児の手の届く場所で使用したりしない

感電・けが・やけどの原因になります。



禁止

倒れて他の電気製品などに水がかかるような場所に置かない

こぼれた水で、感電・ショート・故障の原因になります。



禁止

吹出口や通気口をふさいで運転しない

本体に衣類やタオルなどをかけて運転しないでください。故障の原因になります。



禁止

毛足の長いじゅうたんや畳の上、傾斜面などの不安定な場所で使用しない

振動したり、引っ掛けて転倒したりすると水がこぼれて、感電・ショートの原因になります。



禁止

使用中や使用直後は本体を動かさない

ふたがしっかり閉まっていないと転倒したとき、ふたが開き熱湯が流れ出すため危険です。



禁止

使用中や使用直後は吹出口や高温部に顔などを近づけたり、触ったりお手入れをしたりしない

やけどの原因になります。



禁止

使用中や使用直後にふたを開けたり、ふたを開けたまま運転したりしない

蒸気により、やけどの原因になります。

注意



こまめなお手入れ

水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ換えて、本体内部を定期的にお手入れする

ボイラーに水あかが付着すると、加湿量の低下や故障の原因になります。週に1回は必ずお手入れをしてください。また、水を入れたままにしておく、異臭などの原因になります。



禁止

水タンクに化学薬品・汚れた水・アルカリイオン水・ミネラルウォーターなどを入れない

水道水以外は使用しないでください。故障や雑菌の繁殖の原因になります。



禁止

お部屋の加湿以外の用途で使用しない

お部屋の加湿以外の用途で使用すると感電・故障の原因になることがあります。



禁止

暖房器具の上や近く、直射日光が当たる場所に置かない

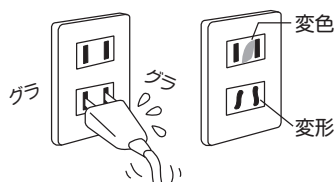
プラスチック部分が変形・変質・変色することがあります。

知っておいていただきたいこと

安全・快適にお使いいただくために

- お手入れは、こまめに行ってください。(→11～13ページ) 特にボイラーやトレーなど内部に水あかが付着すると、故障や異音・異臭の原因になります。
- やけどのおそれがあります。次のことに、ご注意ください。
 - ・使用中や使用直後は吹出口や高温部に触れたり、顔などを近づけたりしない。
 - ・使用中や使用直後にふたを開けたり、ふたを開けたまま運転したりしない。
 - ・お子様だけで使用させたり、乳幼児の手の届く場所で使用したりしない。
 - ・不安定な場所で使用しない。
 - ・直接トレーに給水せず、水タンクに水を入れてセットする。
- 水タンクに水を入れないと運転しません。
- 水タンクに水道水以外のものを入れて運転しないでください。
市販の除菌剤やアロマオイルなども故障の原因になることがあります。
- 本体下部や床（設置場所）を時々清掃してください。こぼれた水を放置すると、床を傷めるおそれがあります。
- こまめに水を入れ換えてください。また、長期間使用しない場合は必ず水を捨ててください。水あかの付着や、水の腐敗による悪臭の原因になります。
- 凍結する場所に電源を切って放置する場合は、必ず水タンクの水を捨ててください。
- コンセントの差し込みがゆるくなっていないか（コンセントの老朽化）、タコ足配線をしていないか、電源プラグが根元まで差し込まれているかなどを確認してください。ゆるくなったコンセントは使用しないでください。
電源プラグの刃が変形している場合やコードに傷がある場合などは、使用を中止して修理をご依頼ください。

コンセントの点検



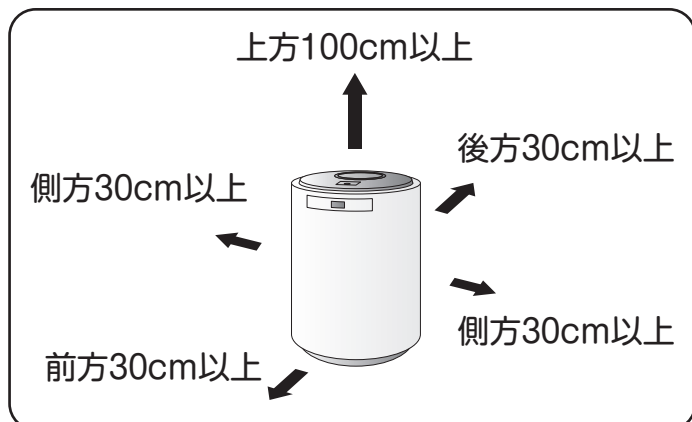
次のようなコンセントは早めに交換をしてください。

- 電源プラグが軽く差し込める・すぐに抜けてくる。
- 変色・変形している。

※良好なコンセントは、電源プラグを差し込むときに多少力が必要で、差し込んだ後もグラグラしません。

設置

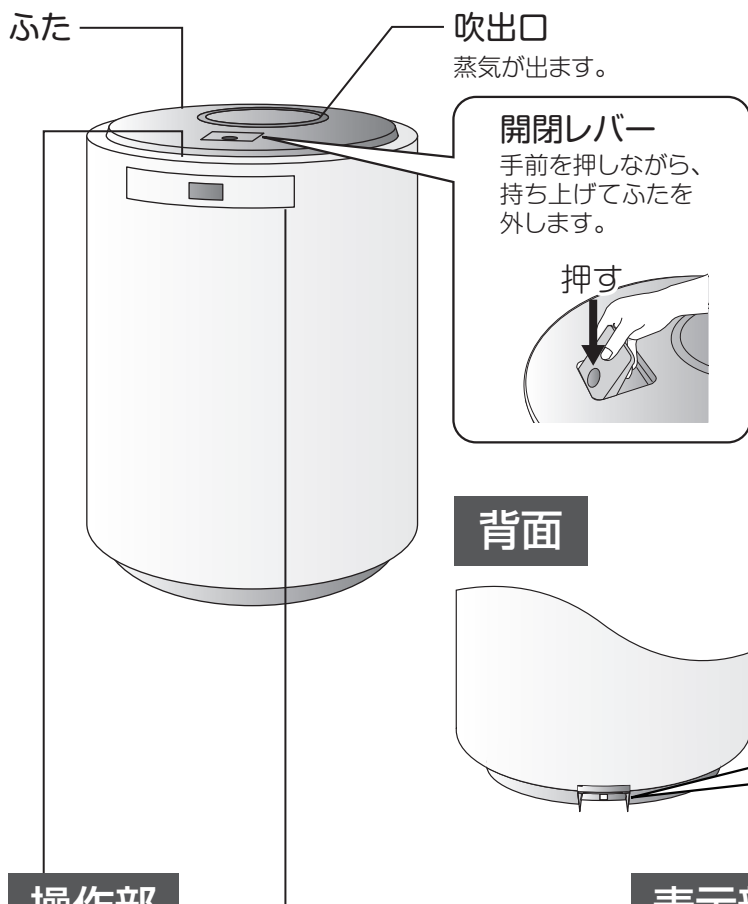
- 下図の範囲内には物を置かないでください。



- 吹出口や通気口をふさがないでください。
- 次のような場所に設置しないでください。
 - ・傾いていたり不安定な場所
加湿器が倒れて水がこぼれたり、故障の原因になります。
 - ・お子様や乳幼児の手の届く場所
 - ・電気製品や精密機器などの近く
機器に水分が付着して故障の原因になります。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・テーブルクロスなど熱に弱いものの上
変形の原因になります。
 - ・高いところ
加湿器が落下して水がこぼれたり、故障やけがの原因になります。
 - ・暖房器具など他の熱源の近く
機器の変形・変色の原因になります。
 - ・吹出口から出る蒸気が家具や壁などに直接当たる場所
しみや変形の原因になります。

各部の名称

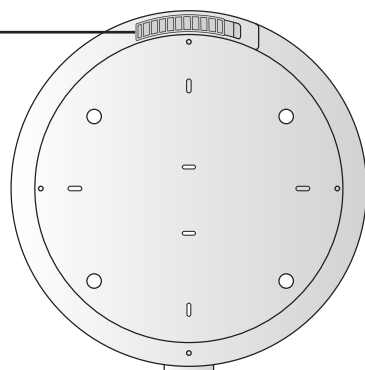
本体



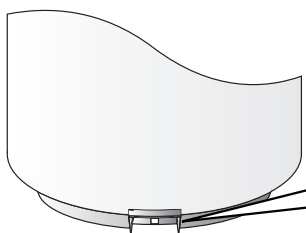
底面

通気口

- ふさがないでください。
内部に湿度センサーがあります。
- フィルターが装着されています。

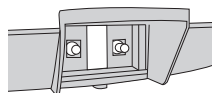


背面



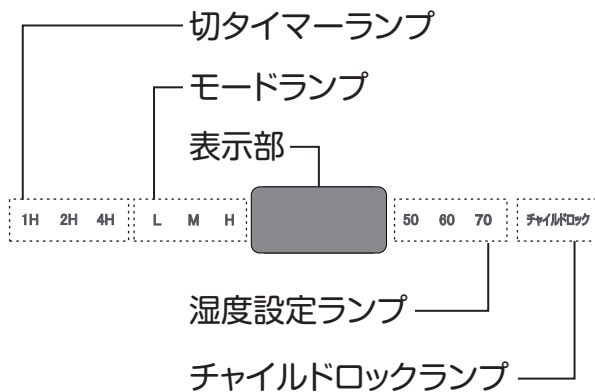
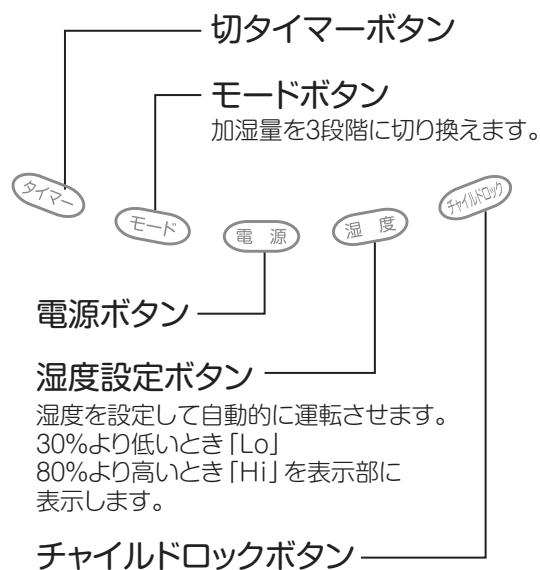
マグネットプラグ接続口

汚れたらふき取ってください。

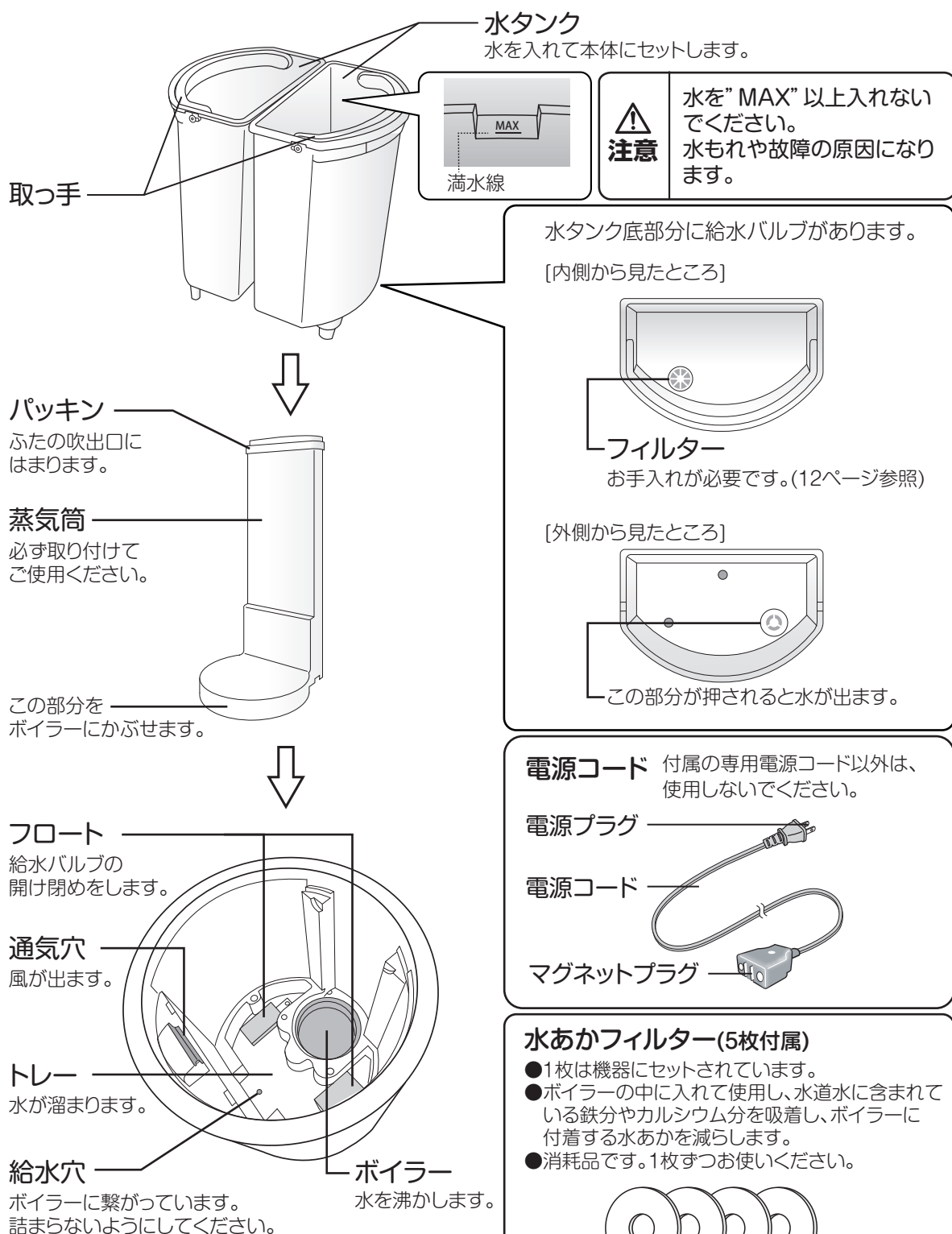


操作部

表示部

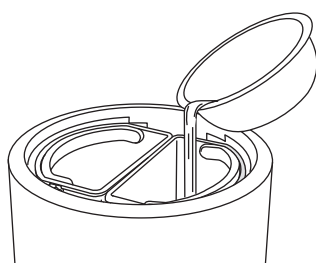
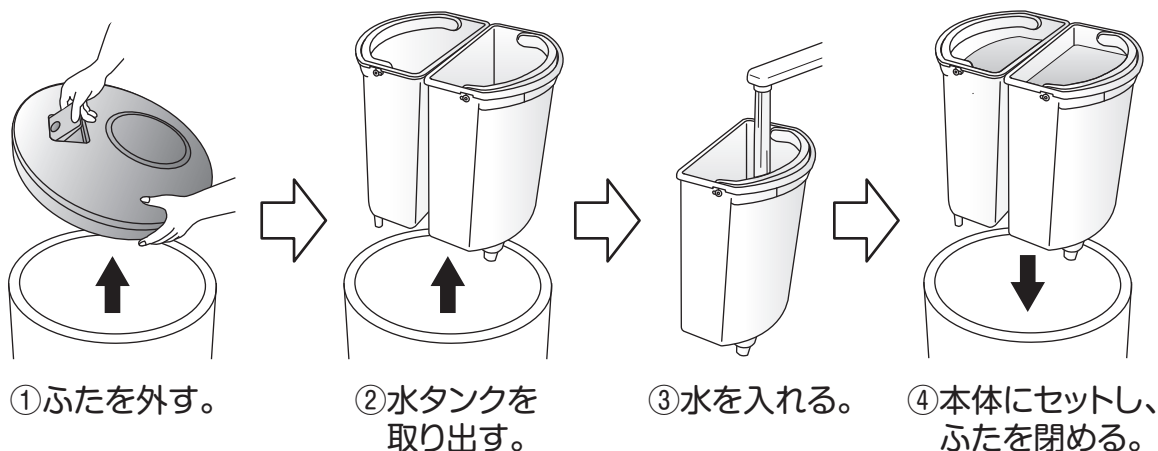


各部の名称



準備

【水タンクへの給水】



本体にセットしたまま
給水することもできます。

【お知らせ】

- 水タンクに水が入っていないとボタン操作ができません。(表示部に  と表示します。)
- 水タンクは2個ありますので、片方の水が無くなっても運転は続きます。
- 片方ずつ給水することも可能です。
- 水は両方の水タンクから均等に減るのではなく偏りがありますが、異常ではありません。



注意

次のような水は使用しないでください。

- ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水、浄水器の水
カビや雑菌が繁殖しやすくなり故障の原因になります。
- 化学薬品、芳香剤、アロマオイル、汚れた水
変形や故障の原因になります。

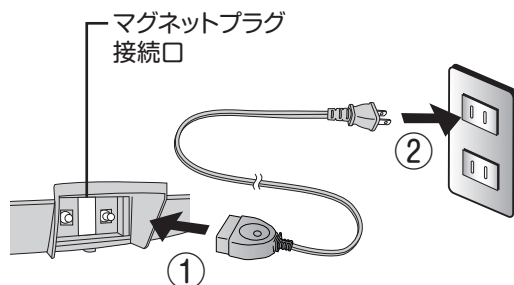
使いかた

1 電源プラグをコンセントに差し込む

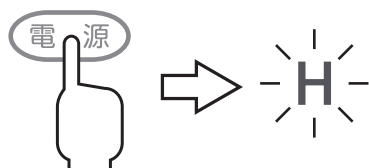
- ① マグネットプラグ接続口に
マグネットプラグを接続します。
- ② 電源プラグをコンセントに
しっかりと差し込みます。

注意してください

- ※コンセントの定格を超えないようにしてください。
- ※ゆるみやがたつきがあるコンセントは、使用しないでください。
- ※延長コードは使用しないでください。
- ※マグネットプラグに金属物やごみなどの異物が付着していないことを、ご確認ください。
- ※差し込み手順をお守りください。



2 加湿運転する



(例)湿度50%

- 電源ボタンを押すと表示部に現在の湿度を表示し、モードランプが白色に点灯して電源が入ります。
- 水を加熱し始めて、沸騰近くなると加湿を開始します。

※室温や水温にもよりますが、蒸気が出るまで数分間かかることがあります。

※湿度は、本体内部で感知していますので、実際の室内湿度と異なることがあります。

※30%より低いとき「Lo」
80%より高いとき「Hi」を表示します。

3 加湿量をかえる



- モードボタンを押すたびに加湿量が3段階にかわります。
- 湿度設定ボタンを押して自動運転にすることもできます。
(9ページ参照)



使いかた

4 自動運転にする 設定した湿度を自動的に保つよう運転します。



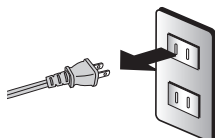
- 湿度設定ボタンを押すと湿度70%で自動運転し、湿度設定ボタンを押すたびに湿度設定が変わります。(湿度設定…70%・60%・50%)
- モードボタンを押すと、自動運転が解除されて通常の加湿運転に切り換わります。(8ページ参照)



【自動運転時の動作】 自動運転時には次の動作を繰り返します。
設定した湿度を保つように、加湿運転の強弱を自動的に切り換えます。

機器の設置条件などにより、設定した湿度は室内の湿度と異なることがあります。目安としてご使用ください。

5 運転を終了する



電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 警告 やけどのおそれがあります。

- 蒸気の吹出口に触ったり、手や顔を近づけたりしない。
- 給水時は運転を止め、ふたをゆっくり開ける。
- ふたを開けたまま運転しない。
- ふたを勢いよく閉めない。

使いかた ー各機能ー

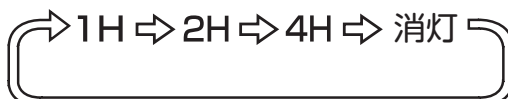
切タイマー



- 加湿運転または自動運転させてから、切タイマーボタンを押してください。設定時間が点灯して、押すたびに設定時間が切り換わります。設定時間が経過すると運転が停止します。

設定時間：1・2・4時間

- 4時間の次に切タイマーボタンを押すと、設定時間が消灯して切タイマーが解除されます。



- 切タイマー運転中に再度切タイマーを設定することができます。
- 切タイマー運転中に、通常の加湿運転・自動運転の設定変更ができます。
- すぐに運転を停止したいときは、電源ボタンを押してください。

チャイルドロック



チャイルドロックボタンを3秒以上長押ししてください。
チャイルドロックランプが赤点灯してロックします。

〔停止状態でロック〕 運転開始できなくなります。

〔運転状態でロック〕 運転設定を変更できなくなり、
電源を切る以外の操作ができなくなります。
再度運転するときはロックを解除してから、
電源ボタンを押して設定しなおしてください。

解 除

解除するときは、再びチャイルドロックボタンを
3秒以上長押ししてください。

お手入れ



警告

お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷めてから行ってください。



警告

ふたを外した状態で運転しないでください。やけどのおそれがあります。

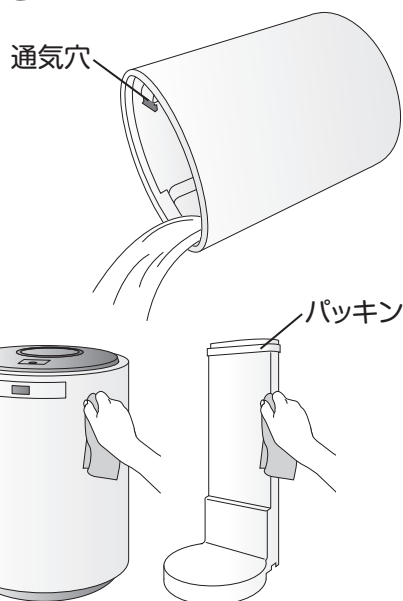


注意

お手入れにはベンジン・シンナー・磨き粉・金たわしなどを使用しないでください。

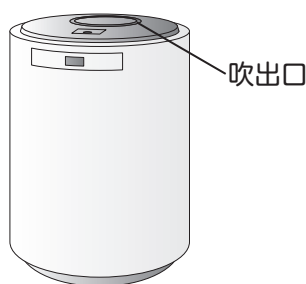
1 本体・蒸気筒・パッキンのお手入れをする

- 水タンク・蒸気筒を取り外して、右図のように通気穴を上側にして、トレーの水をゆっくりと捨ててください。
- 本体・蒸気筒・パッキンを乾いたやわらかい布でふいてください。汚れがひどい場合は、ぬるま湯でうすめた台所用中性洗剤を布に含ませ、固くしぼってふいてください。



注意

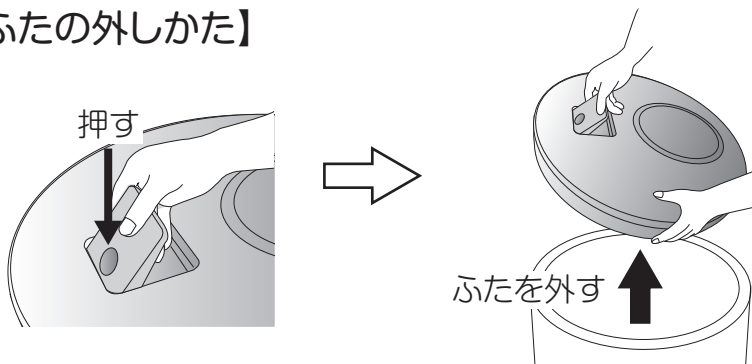
- 通気穴を下向きにして排水しないでください。
- 排水時に、マグネットプラグ接続口に水がかからないようにご注意ください。付着した水は、必ずふき取ってください。



2 ふた・吹出口のお手入れをする (1週間に1回程度)

吹出口の周りを乾いたやわらかい布でふいてください。水あか（白い付着物）が付着したら、早めにふき取ってください。放置すると固着してしまいます。

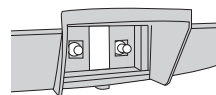
【ふたの外しかた】



お手入れ

3 マグネットプラグ接続口のお手入れをする

乾いたやわらかい布で汚れをふき取ってください。
マグネットプラグも同様にお手入れしてください。
汚れたまま使用すると発熱などのおそれがあります。

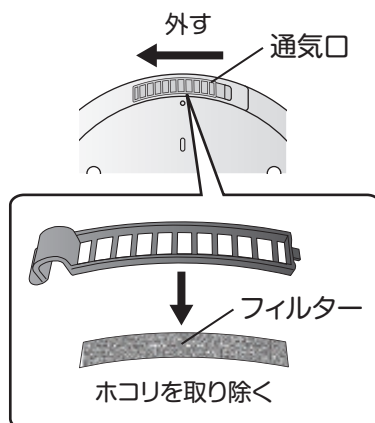


4 通気口のお手入れをする

- 通気口がホコリなどで目詰まりすると、湿度センサーの感知に影響が出ることがあります。ホコリはこまめに取り除いてください。
- 汚れがひどい場合は、フィルターを取り外してホコリを取り除いてください。

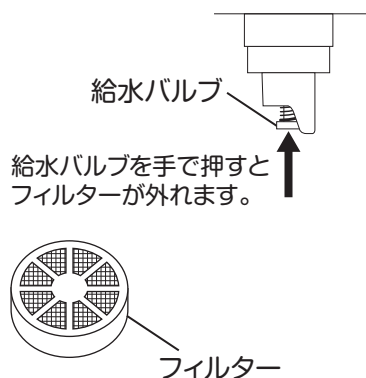
⚠ 注意

- フィルターなしで絶対に使用しないでください。故障の原因になります。
- フィルターを熱湯で洗ったり、直火に当てて乾かしたりしないでください。変形・変質の原因になります。



5 水タンクのお手入れをする (1週間に1～2回程度)

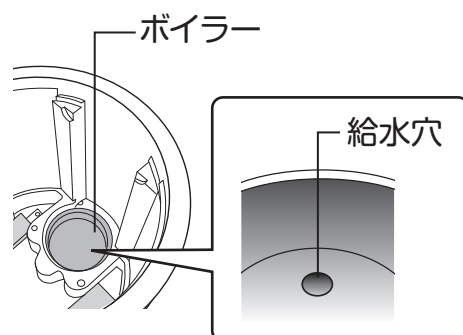
- ①水タンクの水を捨ててください。
- ②水タンクを乾いたやわらかい布でふいてください。
水あか（白い付着物）が少しでも付着したら、中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジなどで洗ってからすすいで、水分をふき取ってください。
放置すると水あかが固着して、故障の原因になります。
- ③フィルターを外して、付着しているゴミなどを水で洗い流してください。
清掃後は元通りに取り付けてください。
※フィルターが詰まると給水されなくなり、加湿しません。



お手入れ

6 ボイラーのお手入れをする (1週間に1回程度)

- 水あか(白い付着物)が付着したら、中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジなどで汚れを取り、水ですすいで、水分をふき取ってください。
放置すると水あかが固着して故障の原因になります。また、給水穴が水あかで詰まると、加湿できなくなります。
- 取りにくいときは、次のようにクエン酸をご使用ください。
※クエン酸を入れたまま長時間放置しないでください。
ボイラーのコーティングが傷んで故障の原因になります。



クエン酸を使用してお手入れする

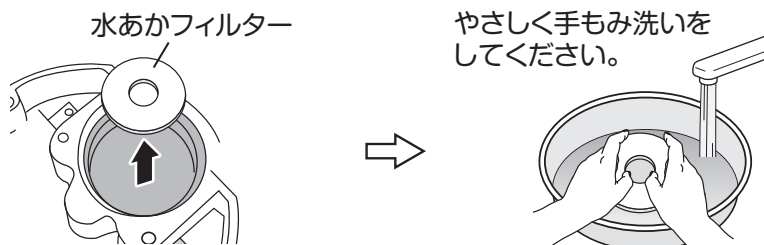
- ① ボイラーが隠れる程度の水を入れ、電源ボタンを押して、ふたを開けたまま水を沸騰させます。
- ② 沸騰した後、クエン酸を10g程度混ぜます。
- ③ 電源を切り、約2時間放置します。
- ④ お湯を捨てて、スポンジなどでこすり洗いしてから、水で十分すすいでください。すすぎが不十分な場合、加湿時ににおいが出ることがあります。

⚠ 注意

- お手入れには磨き粉や金たわしなどを使用しないでください。
ボイラーのフッ素コートを傷める原因になります。
- 約2時間以上、クエン酸を入れたままにしないでください。

7 水あかフィルターのお手入れをする

吸着した水あかは手もみ洗いして除去しながら繰り返してご使用できますが、水あかが除去できなくなったり、破れてしまった場合は交換してください。



水あかフィルターのご購入については、お買い上げの販売店または、取扱説明書に記載の「お客様ご相談窓口」にご相談ください。

収納のしかた

- お手入れ後は水分をふき取り、直射日光の当たらない場所で十分に乾燥させてください。
 - 製品をポリ袋などに入れ、お買い上げ時の箱に収納します。
直射日光を避け、湿気の少ない場所で保管してください。
- ※緩衝材を紛失した場合や箱に入れずに収納する場合は、製品を立てた状態でポリ袋などを被せてください。



警告

- 電源コードをきつくたばねたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。
コードが破損し、火災や故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなときは

ご確認ください

運転しない

- 電源プラグがコンセントから外れていませんか。
→しっかりと差し込んでください。
- マグネットプラグが外れていませんか。
→確実に接続してください。
- マグネットプラグが汚れていませんか。
→コンセントから外し、接点を綿棒で優しくふいてください。
- コンセントに電気は来ていますか。
→他のコンセントでもお試してください。

加湿しない

- 水タンクが空になっていませんか。(表示部に  と表示)
→給水してください。
→水タンクに給水しても表示部に  と表示される場合:
 - 水タンクのフィルターをお手入れしてください。(12ページ参照)
 - 水タンクを正しくセットし直してください。
- 吹出口が目詰まりしていませんか。
→お手入れしてください。(11ページ参照)
- 運転開始しても数分間は蒸気が出ないことがあります。
- ボイラーの給水穴が詰まっていますか。
→お手入れしてください。(13ページ参照)

においがする

- 水が古くなっていますか。
→新しい水に入れ換えてください。
- 使い始めは、樹脂などのにおいがすることがありますが、ご使用にともないにおいがなくなります。
- 水タンク内部は汚れていませんか。
→スポンジ等を使い水あかなどの汚れを落とし、しっかりすすいでください。
- ボイラーは汚れていませんか。
→お手入れしてください。(13ページ参照)

湿度が上がらない

- お部屋の面積が適用床面積より広くはないですか。

湿度表示が正しくない

- センサーが本体内部にあるため、お部屋の湿度とずれが生じることがあります。
- 通気口が詰まっていますか。
→お手入れしてください。(12ページ参照)
- 設置場所が窓際などで、局所的に温度が高かったり低かったりすると、正確に湿度を感知できないことがあります。

※上記の点検または処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、水タンクの水を捨て乾燥させてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

※電源コードや電源プラグに下記のロ.およびハ.の症状があるとき、またはイ.の場合で汚れなどが取り除けない場合には、感電や火災の原因になりますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

イ.電源プラグに汚れ・さび・ホコリなどの付着が見られる。

→汚れ・さび・ホコリなどを取り除く。

ロ.電源コードに傷がある。

ハ.運転中、電源コードを動かすと電源が切れることがある。

よくあるご質問

ご 質 問	回 答
電気代はどのくらい かかりますか？	強運転(最大連続加湿の場合) 1時間あたり約31円 ※電気料金目安単価31円/kWhを基に計算しています。
何時間連続で 使用できますか？	強運転時(最も水を消費する場合)：約8時間 弱運転時：約25時間
何畳の部屋まで 加湿できますか？	強運転の場合、 木造和室：20畳まで プレハブ洋室：33畳まで
一日中連続で 使用できますか？	連続で使用いただいてもかまいませんが、安全上給水時には いったん運転を停止し、湯気などに注意して給水してください。

仕様

電源電圧	交流100V 50/60Hz		
本体寸法	幅340×奥行340×高さ442mm		
質量	約5.6kg		
電源コード長	約1.5m		
運転モード	H (強)	M (中)	L (弱)
加湿量	1200ml/h	800ml/h	400ml/h
消費電力	1000W	650W	350W
連続加湿時間	約8時間	約12時間	約25時間
適用床面積 (強運転時)	木造和室：～約20畳 プレハブ洋室：～約33畳		
安全装置	温度ヒューズ、電流ヒューズ		
水タンク容量	約10.0L		
付属品	フィルター		

※加湿量は、室温20℃・湿度30%のときの値で表しています。

※室内の温度や湿度によって加湿量はかわります。

アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。
保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、内容をよくお読みいただき大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。
- 保証期間後の修理
お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認いただき、それでも異常のあるときは、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をお申し付けください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがのおそれがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

この商品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

お客様ご相談窓口

ナビダイヤル  **0570-019-700**
※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

- Eメールでのご相談も受け付けております。
その際は商品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は
info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には保証書に記載の商品名・品番をご連絡ください。